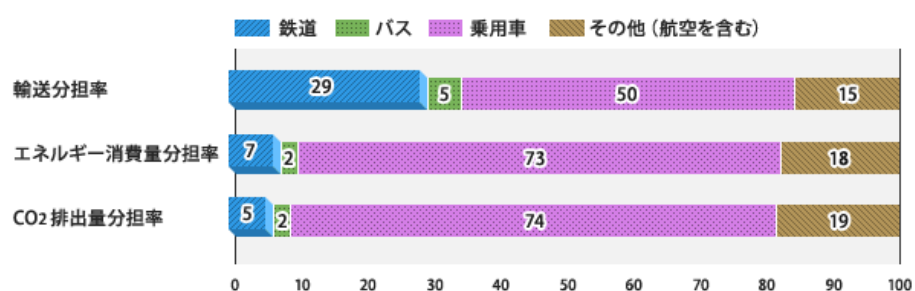


環境報告書（2011年度）

鉄道は環境負荷の少ない輸送機関

鉄道は日本の旅客輸送の約3割を担っていますが、エネルギー消費量は約7%、CO₂排出量は約5%であり、わずかなエネルギーやCO₂排出で多くのお客様にご利用いただいています。

国内旅客輸送機関の輸送量とエネルギー消費量及びCO₂排出量の構成（平成20年度：全国）



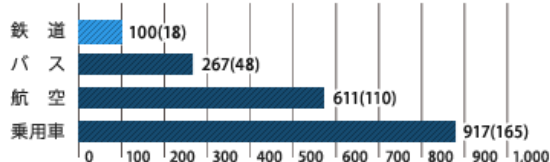
（資料）国土交通省交通統計室「交通関連統計資料集」GIO「日本の温室効果ガス排出量データ」より量出

* 端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

単位輸送量に換算すると、CO₂排出量は自家用乗用車の約9分の1となり、鉄道は他の交通機関と比較すると、エネルギー効率に優れ、地球環境に優しい乗り物といえます。

単位輸送量あたりのCO₂排出量【旅客】（平成21年度）

鉄道を100とした場合の指数



（注）国土交通省ホームページをもとに作成（ ）は、実際のCO₂排出量 [g-CO₂/人キロ]

このように鉄道は環境負荷の少ない輸送機関ではありますが、列車の運行などに多くの電力、燃料を消費し、それにともないCO₂を排出しています。地球温暖化防止や昨今のエネルギー需給の逼迫にかんがみ、エネルギーの効率利用や消費量低減に取り組んでいます。加えて、交通体系全体としてのCO₂削減に寄与するため、他の交通機関と連携し、公共交通の利用促進に努めています。

また、地域とともに歩む企業として、沿線の方々とのコミュニケーションや、生物多様性保全への配慮も大切なこととらえています。